

## 飯野海運株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、飯野海運株式会社（以下「本法人」）が発行する第2回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年3月18日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の発行により調達する資金を、新橋田村町地区市街地再開発事業で建設中の日比谷フォートタワーの事業費に充当します。日比谷フォートタワーは、「太陽光パネルの設置」、「屋上緑化」、「低蓄熱型舗装」、「日光による放射熱を低減するLow-Eガラスの採用」、「庇による直射日光の遮蔽」など環境面に配慮した施設です。

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020年版」の基準に適合するグリーンファイナンス・フレームワークを策定し、それらへの適合性および透明性の確保並びに投資家への訴求力向上のため、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンボンド予備評価の最上位である「Green1」の総合評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上